



大学医局のイメージを変える 自由闊達な教室

新潟大学医学部 血液・内分泌・代謝内科

曾根 博仁 教授

総合内科的視点を持つ専門医を養成中!

全身を診られる総合内科医になりたいが専門医資格も欲しいと思っている方には、当科はまさにピッタリの進路です。全国の内科教室は臓器別細分化が進んでいますが、血液・内分泌・代謝分野という珍しい組み合わせの当科は、急性から慢性、重症から軽症、若年から老年、腫瘍から動脈硬化・生活習慣病までを幅広くカバーできる「総合内科」的アプローチを学べます。多くの専門医資格が取れる上に、全身が診られる総合内科医にもなれるわけです。

一般病院と大学の 「いいとこ取り」研修プログラム

大学病院(専門的・科学的に深く詳しく行う診療)と市中病院(現場の状況に即応した柔軟で素早い診療)の良い点を組み合わせたフレキシブルな研修プログラムにより、最新の知見・技術と豊富で多彩な症例経験を併せ持つ、国際的に通用する専門医を輩出しています。臨床腫瘍学の最先端として進歩し続ける血液分野と、健康寿命延伸の先頭を走り最も患者が多い内分泌・代謝分野は、共に極めて国民的ニーズが高く、やりがいのある分野です。

大学医局らしくない大学医局

当科では、医局は若いドクターが夢を実現するための仕組みと位置づけて

います。そのキーワードは、自主性尊重と柔軟性、教育的雰囲気です。教授以下スタッフも若く、堅苦しい大学医局のイメージとはかけ離れた温かい雰囲気は、患者さんに寄り添う人間性豊かな医師養成のために、当科が最も大事にしています。学生・研修医教育には定評があります。



研究も自由です

研究や大学院入学を強制されることはありませんが、多くの人が自然に研究の楽しさに目覚めてしまうようです。当科では、教科書やガイドラインを書き換えるような臨床研究から、難治疾患の新治療法に直結する基礎研究まで、国際レベルで幅広く展開され、各人の興味と希望により研究テーマも自由です。

個人別に組まれる研修プログラム

目指す将来像(市中病院勤務、開業、大学教員など)やさまざまな個人的事情(出産・育児、介護、留学など)に応じ、

柔軟に組まれるのが当科の特長です。両分野とも、環境・心理も含めて全人的に診る能力が要求されるため、内科医としての基礎を身に付けるために最適な分野で、1例ずつ丁寧な指導を受けながら、余裕を持った「考える内科」の研修ができます。血液学については、最新技術を駆使した臨床腫瘍学と移植医療が、内分泌・代謝学については、糖尿病、脂質異常症や肥満、高血圧も含めた生活習慣病全般の予防治療がそれぞれ習得できます。

選択科目は希望により、血液班または内分泌・代謝班のいずれかに属してそれぞれの専門医を目指すことも、両分野を同時に取得して(ダブルボード)、現場医療の最前線で多面的に活躍することもできます。意欲的な研修医には学会発表も推奨し、さらに高度な内科的思考を身に付ける指導も行っています。

文責：曾根博仁

DATA

新潟大学医学部
血液・内分泌・代謝内科

〒951-8510
新潟県新潟市中央区旭町通1番町757
<http://www.med.niigata-u.ac.jp/emh/index.html>
emh@med.niigata-u.ac.jp
構成：医局員数／71人、指導医数／20人、
研修医数／47人